森とせせらぎネットワークニュース

第11号

発行者 平井資嘉寿
編集者 稲本文雄
事務局 044-766-5315

シンボルマーク

集まろう！「灯籠流し」

ネット事務局長 田辺勝義

江川せせらぎ遊歩道は、休みともなれば子ども達、大ども達、お年寄りで大賑いです。ここが安心して遊べる、快適な場所だかづくりでしょう。さて、次は集まる人の輪、和づくりです。本当に安心できる場所となるには、人の心が繋がり、子どもを見守っている状態こそ望まれます。コミュニティーづくりです。

最近の日本は安心できる場所がそんなにありません。秋葉原の事件がそれを示しています。子供の誘拐殺人事件も後を絶ちません。他方、日本はイラク、アフガンの戦争に関わり、そこでは子どもたちが次々と殺され、死んでいます。他人事ではありません。

そこで、お盆に因んで「灯籠流し」です。私たちの先祖を思い、8月6日・9日のヒロシマ・ナガサキを思い、15日を忘れず、また、60年前のこの地域の青年団の桜並木造りを思い起こし、「地域の安心地球の平和祈りを込めて」灯ろうを流します。

今年は東屋で「乙女文楽」も行います。演目は「二人三番叟」お楽しみに！

◎日時 8月10日（日）6時～8時頃
◎場所 せせらぎ遊歩道管理棟前
◎費用 300円
◎申し込み 平井 777－4005
松本 766－3833

【メモ】
乙女文楽＝文楽は一人の人形を三人で操作するものですが、乙女文楽は一人の人形を一人で操ります。文楽が男性のみで行うのに対し、乙女文楽は女性のみで演じます。

二人三番叟（そう）＝「三番叟」は、もと五穀豊穣（農作物の出来がよい事）を祈る意味合いのものでしたが、お目出度い意味から、お祝いの場や開幕式などで演じられるものと成りました。これを女性二人で演じる事から「二人三番叟」と言います。

08 8月10日（日） 灯ろう流し

地域の安心 地球の平和 祈りを込めて

“品格のある：江川せせらぎ遊歩道”を目指して

明津ボランティア部 松本浩次郎

「江川せせらぎ遊歩道」は平成15年6月に開設され、今年で5周年になります。明津小学校の同時期に結成された「明津ボランティア部」も6月29日に第1回目の清掃作業が行われました。それ以降五年間、毎月第2第4日曜日の早朝六時から行って来ました。草取り・清掃・植栽作業、清掃作業を行ってきました。

遊歩道の散歩者も増え、清掃も軌道に乗るとトイレの必要度が高まりました。平成14年4月、明津町会長が建設局に申し入れ、下小田中6丁目町会と協力して、32日間の利用者がいることを分かりました。市長にも申し入れ、建設局とも話し合い、トイレが24時間開放されるように

各地の祭りを訪ねて② ―巨大たいまつの復活―

佐藤克明

琵琶湖東岸の滋賀県近江八幡市島町（しまちょう）には、千数百年前から、四月の春祭すに伝統なたいまつがあります。「ほんがら」を作って燃やすと、青年団が衰退してしまいました。高齢化も進んで、高度経済成長期に五十年前は青年団が衰退してしまいました。地域の老人会でほんがら復活の話が昨年、新たな動きが始まりました。菜種の刈り取りや稲藁づくりから始めました。記憶だけを頼りに、一年も途絶えていた。

今年四月、青年たちが中心になってそれを受け継ぎました。数本の長い竹を竹の輪に結びつけて煙突状の骨組みを作り、周りを稲藁でつけていきます。上部に最初に火をつけて立てます。上部は十一段高くつけます。最下部に火の柄を仕上げます。菜種の火は煙状の内側を燃え昇ります。

メートルもあるでしょうか。巨大たいまつを一人で出すのは大変です。上から下へ、筒状に燃えつくされると、伝統の炎を噴き出した地域の人々が、歓声や拍手をしてくれます。迫力ある行事でありました。

日頃の苦労が癒される時！

相崎實朗

「五月の写真展」の感想ノートより抜粋

一、とても素敵なお写真ばかりです。これからも素晴らしい作品を見せて下さい。散歩中の中年夫婦

二、江川にこんな所があるとは知りませんでした。とても綺麗な写真だと思います。中一、N.K

「今昔の写真展」の感想ノートより抜粋

一、十三年に東京から越してきました。この写真展とてもスバラシイと思います。主人と二人でこの井田でお世話になります。昔も今も心なごませ人々を楽しませてくれる江川せせらぎが、美しく永遠に続きますように！お世話して下さる方に感謝して、毎日散歩で元気を頂いています。

井田K.N

※せせらぎ遊歩道も年々花が咲き誇り歩行する人々を楽しませて居ります。写真展もお蔭さまでウオーキングの途中・歩行する方々に憩いの場所として楽しく見て頂ける所に近づいて来たと思います。

写真も額に入り良い作品になりました。又「今昔の写真懐かしい」と人気が有りました。今後とも皆さんに楽しんで頂ける様に頑張って行きたいと思う次第です。

なりました。

平成14年4月に環境局の主宰で「公園管理運営協議会」が結成され、当時ボランティア部会長が川崎市長と協定書を結びました。

協定は「江川せせらぎ遊歩道」を「明津地区80m」が管理、「清掃・植栽・ボランティア部」が公園の利用調整など実施が主な内容です。今年4月に総会を開き、開設5周年を記念して“枝垂櫻”の植樹と公園造り5項目を決議しました。

のあるせせらぎ公園事務所に申し入れました。

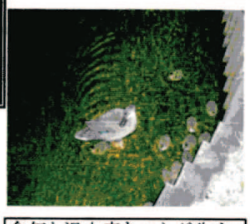
“西部公園事務所の許可を受け、④ザリガニ採りの蛇籠破り、⑤土壌流れ（締め）対策、など目減りの回答をいただきました。

これからせせらぎ遊歩道を“江川せせらぎ遊歩道”を目指して行こうと、62名の会員は張り切っています。

編集係より

「森とせせらぎ通信」は皆さまの気付きと投稿で成り立っています。ご連絡等は事務局（田辺）044-766-5315 まで。

連絡先：事務局（田辺）044-766-5315



今年も沢山赤ちゃんが生まれました。

井田山・せせらぎ関連の行事紹介

1、明津ボランティア部（TEL 090-8813-1076 松本）

・清掃作業第二、四日曜日 6時～現地集合

2、納涼祭八月中旬

・井田山市民健康の森を育てる会（TEL 077-0937 小須田）

・下草刈り（芝生の手入れ）二八日（土）八時半～六月現地集合

・自然観察会七月六日（日）八時～現地集合、ひとみ座寄席を楽しむ会（TEL 075-0541）

3、

・親子夏祭り八月二八日（土）十二時～五時（ひとみ座）

4、人力車倶楽部（TEL 075-0506）

・国際交流フェスティバル七月三日（日）十時～

・国際交流センター高津区民祭七月二七日（日）十時～大山街道

5、井田お囃しの会（TEL 766-0235）

・高津区民祭七月二七日（日）十時～大山街道